

## 第5回 地域資源戦略協議会資料

平成26年度科学重要施策アクションプラン

### ③先端技術を利用した生産システムの高度化・実証

【国際競争力確保のための先端技術展開事業  
(攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業)】

農林水産省農林水産技術会議事務局  
研究推進課

# 事業概要

## 対策のポイント

産学の英知を結集して、革新的な技術体系を確立するための実証研究や民間活力を生かした技術開発等を行い、消費者等のニーズに応えます。【25年度補正 10,000百万円】

### 背景

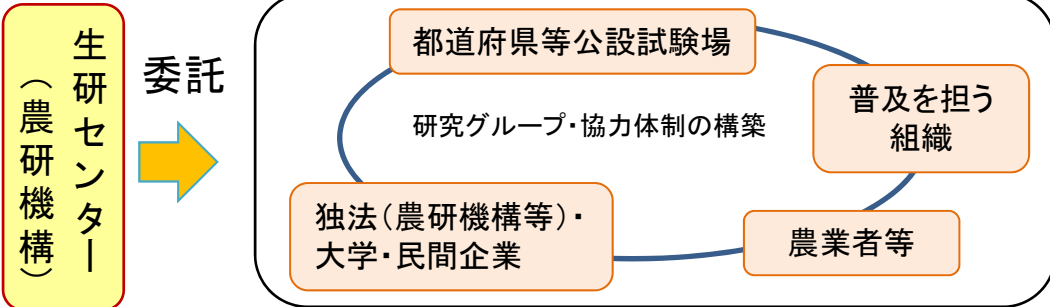
◆攻めの農林水産業を実現するため、従来の限界を打破する生産体系への転換を進めることが急務です。

◆このため、民間・大学・独法などの英知を結集して、革新的な技術体系を確立するための実証研究を行い、消費者等のニーズに応えた農林水産物の生産等を支援します。

### 研究方法

◆産学の英知を結集し、様々な先端技術を基に革新的な技術体系を組み立て、実際の生産現場で、米の低コスト生産や畜産の省力化・効率化等を実現する実証研究を支援。

◆その際には、消費者や実需者のニーズに立脚したものとなるよう、大学等の協力を得て、マーケティングや経営分析研究を併せて実施。



### 米の低コスト生産実証

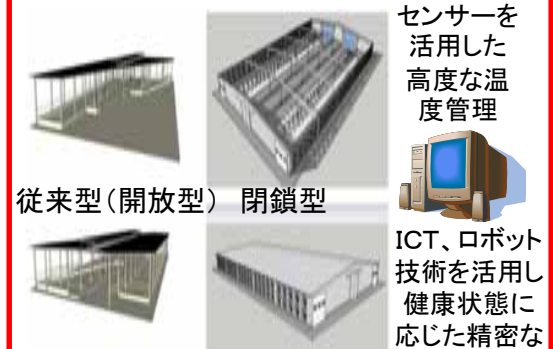
【大規模経営向け無人+有人の協調作業による作業効率向上等】



飼料用米専用品種を導入し、単収1トンを実現

### 畜産の省力・生産性向上実証

【酪農の閉鎖型畜舎による生産性向上等】



大幅なコストの低減等による農林水産業経営の収益増大

革新的技術提案会において、他省庁所管の研究機関から提案いただいた。

# 公募研究課題について

以下の技術体系実証研究の公募研究課題について、試験研究計画の提案書の公募を行ったところ。

- ① 公募研究課題1:米・麦・大豆・野菜類等を導入した省力・低コスト化等を可能とする水田輪作体系
- ② 公募研究課題2:てんさい・ばれいしょ等を導入した省力・低コスト化等を可能とする畑輪作体系
- ③ 公募研究課題3:地域作物(落花生、さとうきび、茶等)の省力・低コスト化等を可能とする生産技術体系
- 公募研究課題4:畜産の生産性向上、省力化等を可能とする生産技術体系
- 公募研究課題5:野菜・花きの効率的な生産を可能とする施設園芸技術体系
- 公募研究課題6:露地野菜の省力化及び安定生産を可能とする技術体系
- 公募研究課題7:果樹の省力化・軽労化及び安定生産を可能とする技術体系
- 公募研究課題8:農林業における鳥獣被害の低減を可能とする技術体系
- 公募研究課題9:林業の省力化・低コスト化等を可能とする技術体系
- 公募研究課題10:水産業の効率化・生産性向上等を可能とする技術体系

# 公募類型について

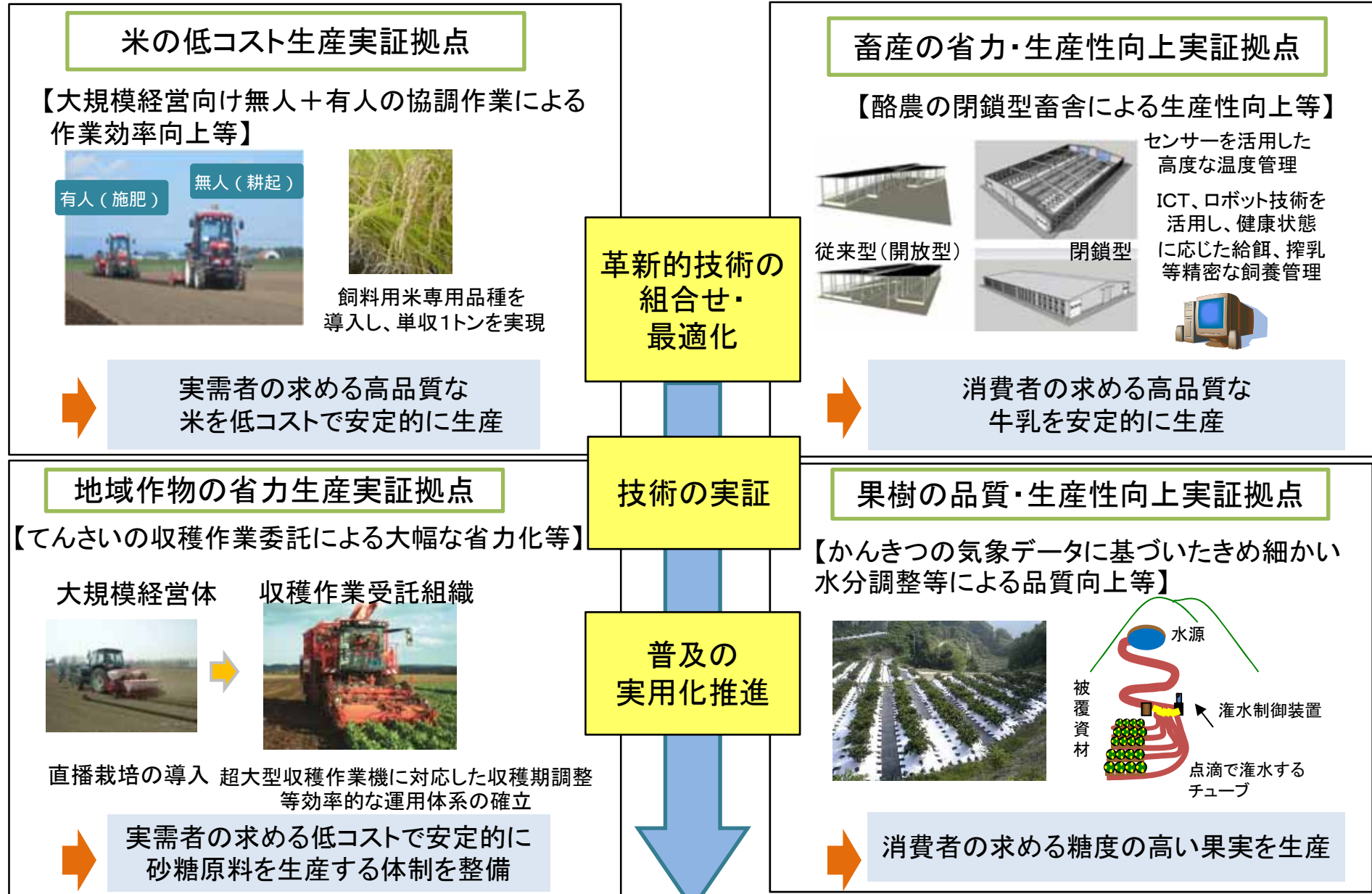
## 網羅型研究

1. 研究の内容： 別表の公募研究課題の「目指す技術体系」ごとにこれを網羅した内容の研究
2. 研究体制： 研究グループで研究コンソーシアムを形成して実証研究を実施
3. 研究期間： 平成26年度～平成27年度の最長 2年間
4. 経費限度額： 1試験研究計画当たり1億5,000万円以内／2年  
ただし、施設や機械類の試作を行う場合にあっては別途計上可能
5. 達成目標： 実証研究の対象地域において、これまでの営農体系と比較して生産コスト低減又は収益率の増加が可能となる技術体系の確立

## 個別要素技術型研究

1. 研究の内容： 網羅型研究を補完しうる個別の要素技術の研究
2. 研究体制： 単独の機関での応募も可能
3. 研究期間： 平成26年度～平成27年度の最長 2年間
4. 経費限度額： 1試験研究計画当たり2,000万円以内／2年  
(実証研究に必要な機器の整備等を含めた金額)
5. 達成目標： 網羅型研究の達成目標を補完する技術について、その効果(網羅型研究への寄与)を達成目標として設定

# 研究方法のイメージ



大幅なコストの低減等による農林水産業経営の収益増大